

宇都宮市民憲章

- 1 健康で、心のふれあう明るいまちをつくります。
- 2 きまりを守り、活気あふれる楽しいまちをつくります。
- 3 学ぶことを大切にし、文化の薫る美しいまちをつくります。



編集・発行 宇都宮市立図書館 明保野町 7 番 57 号 〒320 TFL 36-0231
宇都宮市立東図書館 今泉町 2137 番地 〒321 TEL 38-5614



ワッショイ!! ワッショイ!! 祭りだワッショイ!!

全国津々浦々で、ふるさとの祭りが真つ盛りです。

図書館には、リオのカーニバルから、はたまた宮まつりまで、祭りに関する本が盛り沢山です。皆さん、図書館を利用して一味違う祭りを楽しんでみませんか。

☆ 郷土資料編

宮まつりをはじめとする宇都宮の祭りについては、この 1 冊! 「宇都宮の祭りと芸能」

宇都宮市教育委員会発行
栃木県内の祭りについては、

「とちぎの祭り 100 選」月刊さつき研究社発行、「とちぎの祭りと芸能」月刊さつき研究社発行、「栃木県の年中行事」第一法規発行などがお勧めです。

☆ 参考図書編

祭りのいわれや何処にどんな祭りがあるかなどをまとめています。「日本まつりと年中行事事典」桜楓社発行、「日本の祭り事典」淡交社発行、「日本年中行事事典」角川書店発行など。

8~10月の全国の主な祭り

- ① まりも祭り (阿寒町) ② ねぶた祭り (青森市) ③ ねぶた祭り (弘前市) ④ 竿灯祭り (秋田市) ⑤ 仙台七夕祭り (仙台市) ⑥ 花笠まつり (山形市) ⑦ 宮まつり (宇都宮市) ⑧ 大原のはだかまつり (千葉県大原町) ⑨ 深川祭り (東京都江東区) ⑩ 鶴岡八幡宮例大祭 (鎌倉市) ⑪ 吉田の火祭り (富士吉田市) ⑫ 島田帯まつり (島田市) ⑬ 風の盆 (富山県八尾町) ⑭ 大津祭 (大津市) ⑮ 大文字焼き (京都市) ⑯ 時代祭 (京都市) ⑰ 灘のけんか祭り (姫路市) ⑱ 白石踊り (笠岡市) ⑲ 阿波踊り (徳島市) ⑳ 長崎くんち (長崎市)

☆ 一般書編
・ 祭りを訪ねるには、「お祭りガイド」渡辺良正著、
「車で訪ねる日本の祭り」J A F 出版社編、「日本の祭り歳時記」講談社編、「日本の奇祭」村上真弓編
・ 祭りを企画するには、

「祭りといイベントのつくり方」鶴見俊輔著
・ 祭りと言えば、「ゆかた」雄鶏社編、「ゆかた Q & A ここがポイント」雄鶏社編、「露店市・縁日市」秦孝治郎著、「花火」竹崎昭 (写真集)
・ 小説の中の祭りでは、「花祭」安岡章太郎著、「京都葵祭殺人事件」山村美紗著、「風の盆恋歌」高橋治著

☆ 児童書編

・ どんな祭りがあるかな? 「シリーズ世界の祭り」同朋舎編
「世界の祭りと子ども」大日本図書編、「子どもの祭り」小峰書店編、「こどもの 12 かげつ」小峰書店編

・ 絵本の世界の祭りでは、

「ふしぎなカーニバル」秋山匡著、「お化けの縁日」川端誠著、「祭りの晩」宮沢賢治著、「妖精たちの花祭り」永田萌著
・ お話として楽しむには、

「星まつり」最上一平著 (課題図書)、「ホテルまつりの川」久保喬著、「祭りの朝」村野夏生著、「ムーミン谷の夏祭り」ヤンソン・トールベ著、「りぼんちゃんはいノりぼんちゃんのおみこしワッショイ」那須正幹著

東図書館では、8 月中、「祭り」をテーマにした本の紹介コーナーを設けています。
ぜひご覧下さい。



宇都宮の名木をたずねて

めい ぼく

宇都宮市内には、何百年もの年輪を刻む古い木や、見る人を圧倒するような大きな木、花や姿の美しい木など、地域の人々に親しまれ守られてきた名木がたくさんあります。

夏休みには、家の近くのお寺や神社、川のほとりや街道沿い、あるいは校庭などの大きな木をさがして、その歴史や言い伝えなどを調べてみてはいかがでしょうか。

宇都宮市や栃木県の名木について調べるには、次のような資料があります。調査相談室の郷土資料コーナーでくらん下さい。

「宇都宮の名木」

宇都宮市教育委員会編・発行

「とちぎの名木百選ガイドブック」

栃木県編・発行

「栃木県大百科事典」

下野新聞社編・発行

「宇都宮の文化財」

宇都宮市教育委員会編・発行



① 徳次郎のけやき

(樹齢約700年・高さ40メートル)

中徳次郎にある智賀都神社の鳥

居の両わきに、二本のけやきがそびえ立っています。西側のけやきは天に向かうように、東側のけやきは天を受けるように枝を広げており、どちらもほぼ同規模で神社の古さを示すような巨木です。

(県指定天然記念物)

② 城山のしだれざくら

(樹齢約400年・高さ8メートル)

城山西小学校の校庭の中にある桜です。昔、古賀志に住む孝行息子が、死ぬ前にもう一度桜の花を見たいという病気の父親の願いをかなえるため、近くの大日様に願をかけたところ、息子の心が天に通じて冬の雪の朝に桜の花が満開になったという伝説があり「孝子桜」とよばれています。

(市指定天然記念物)

③ 祥雲寺のしだれざくら

(樹齢約300年・高さ7メートル)

八幡山公園西側の祥雲寺の境内に、県内最大のしだれざくらの巨木があります。江戸時代初期の明暦年間に、本堂再建の記念として植えられました。

その後、昭和23年の本堂類焼の際に北側の枝が焼け樹勢がおとろえましたが、昭和49年に枯れた部分を切り取る治療をしたところ、近年また見事な花をつけるようになりました。

(県指定天然記念物)

障害者サービス その2

前回は、当館で実施している障害者サービスの概要について説明しました。今回は、当館で実施している障害（視覚障害）者へのサービスのうち、有効的なものである「対面朗読」についてご紹介し

体の不自由な人々へのサービス

このサービスは、図書館資料をそのままでは利用できない視覚障害者等に対して、公共図書館が所蔵する資料を提供する上で有効的な手段の一つとなっています。点訳、音訳、拡大写本等をするには、多くの時間と労力が必要となりますが、それに比べ、対面朗読は即座に求める資料や情報に到達できるという利点があります。また、図書館が所蔵している豊富な資料を必要に応じて閲覧しながら情報を手に入れることもできます。

実際の対面朗読は、利用者である視覚障害者と活字資料を視覚障害者の眼の変わりに読む人（音訳者）が直接会って行うサービスです。視覚障害者は、音訳者から視覚的な援助を得ることで、公共図書館が所蔵する豊富な資料にアクセス可能となり、自分が持っている課題を解決するための情報を手に入れることができるように

なります。しかし、公共図書館には、様々な活字資料があり、それらを視覚障害者が有効的に利用するためには、資料にあった音訳の技術的な処理、利用の目的にあった音訳の処理等が不可欠となりますので音訳者を対象として、それらに対応できるように研修会などを開催しています。公共図書館が所蔵する豊富な資料を視覚障害者が利用するという点で、対面朗読サービスは、有効的なものといえることができます。

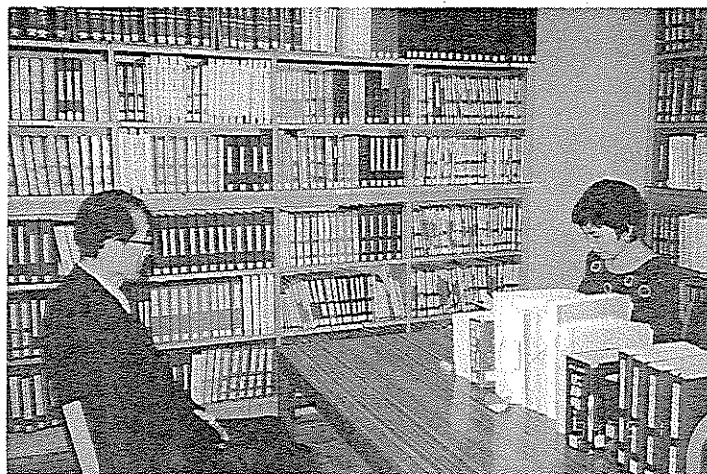
このサービスの基本的な考え方は、自館の「全蔵書をすべての人々へ開放する」という所にあります。公共図書館は、その利用者の知りたいという欲求を達成できるように最大限努力を

しています。

現在、宇都宮市立図書館では、

随時対面朗読の希望を受け付けています。また、当館に自分で来館するのが困難な方のために毎週金曜日の午前中ですが、自宅から図書館の間の送迎を行っています。

この送迎サービスは、まだ開始してから間もないため、みなさんの希望に応える余裕がありますので、視覚障害者の中で、図書館を利用してみたいが自分で来館するのが困難であるとお考えの方は、一度電話でお気軽にご相談下さい。



④ 延命院のときのき

（樹齢約350年・高さ18メートル）
このときのきは延命院の墓地内にあり周囲を墓石に囲まれているが、安土桃山時代に宇都宮城内から移植したものとわかっています。

明治初期までは、ときのき・かし・えのきなどが規則正しく並んでいましたが、現在はこの木とかしだけが当時をしのばせています。

（市指定天然記念物）

とちのきは栃木県の県木でもあり、県庁前のとちのきの街路は有名です。

⑤ 赤門のさくら

（樹齢約150年・高さ20メートル）
慈光寺の参道の石段にくい込むように立っているこの木は、二月下旬から四月上旬にかけて開花することから、市内で一番早く咲く木として有名です。

昔農家では、このような桜を「一番桜」とよび、農作業の開始を告げる桜としていました。

⑥ 旭町の大きいちょう

（樹齢約400年・高さ33メートル）
亀ヶ城といわれた宇都宮城の三の丸と、百間堀との境界の土塁上に植えられたものです。

現在は、県庁と市役所を結ぶ中央通りといちよう通りとの交差点に立っているため、宇都宮市のシンボルとして市民に親しまれています。

（市指定天然記念物）

⑦ 新町のけやき

（樹齢約800年・高さ43メートル）
このけやきは、江戸から宇都宮城下への入口にあたる場所に立っており、昔は多くの旅人の目印になっていました。現在は木のまわりに家が立ち並び当時のおもかげはありませんが、根元には八坂神社がまつられています。

（県指定天然記念物）

⑧ 金剛定寺のかや

（樹齢約400年・高さ25メートル）
金剛定寺は、鎌倉時代に益田氏が林の中で不動明王を見て驚嘆し、一坊を建てたのがはじまりとされています。

このかやの木は南山門のわきにあり、まっすぐに天に伸びる幹から枝が四方にバランスよく伸び、大きな盆栽を見ようような姿をしています。



（市指定天然記念物）

お知らせ

お母さんのための 絵本教室

子どもにどんな本を、どのよう
に与えたらよいのかわからないと
お悩みのお母さんの方のための講座
です。

お子さんが幼稚園に行ってる時
間にお母さんもちよつと勉強して
みませんか？

・日時 平成6年9月27日(火)
午前10時～正午

・場所 東図書館二階集客室

・講師 今井 和子氏

・対象 幼稚園児くらいの子ども
をもつお母さん等

・内容 絵本を読むことの意義、
主な絵本の紹介、読み聞
かせの仕方など

・定員 60名

・受講料 無料

・申し込みは、9月8日(木)午前9
時30分から、直接または電話で
東図書館まで ☎38-5614

・講師紹介

東京、川崎の保育園で20年間保
母として働く。現在お茶の水女子
大等の講師、地域の母親教室の講
師として活躍中。

プラスチックカードへの 更新対象者を拡大

現在、図書館では、貸出券を順
次プラスチックカードに更新して
おりますが、9月から、次の方々
が更新の対象となります。

・昭和58年～62年発行の貸出
券をお持ちの方

なお、昭和56・57年及び東図書
館発行の貸出券をお持ちで、まだ
更新をすませていない方は、速や
かに手続きをして下さい。

更新手続きは、市立図書館、東
図書館、移動図書館、各地区市民
センター、中央公民館図書室等
で行っていますので、必ずお手持ち
の貸出券をご持参のうえ、本人が
手続きをして下さい。

詳しくはカウンター職員におた
ずねください。

日本古典文学講座

講師に、昨年同様石丸晶子氏を
向え、「皇妃たちの日本史」を統
一テーマとして、お話ししてい
だきます。なお主な内容は、天智
後宮の女たち・檀林皇后と二条の
后・建春門院と建礼門院です。

・日時 (1)平成6年9月18日(日)
(2)平成6年9月25日(日)
(3)平成6年10月2日(日)

いずれも時間は、午後
1時30分から午後3時30
分まで。

・場所 市立図書館3階集客室

・講師 東京経済大学教授
石丸 晶子氏

・対象 一般市民(ただし3回連
続して受講できる方に限
らせていただきます)

・定員 50名

・受講料 無料

CD-ROM利用法講座

・日時 平成6年10月2日(日)
午後1時～午後4時

・場所 東図書館三階
L.L.パソコン室

・講師 吉田 稔氏

・定員 20名

・受講料 無料

・申し込みは、9月8日(木)午前9
時30分から、直接または電話で
東図書館まで ☎38-5614

実際にJIBISC、CD-ROM
IASK、電子広辞苑、NH
Kでのごとのソフトを使って
それぞれ演習を行い、理解を
深めます。

読書アンケートにご協力を

市立図書館・東図書館では、8
月17日(木)～8月27日(土)にかけて読
書アンケートを実施いたします。
多くの利用者の皆様の率直なご意
見を図書館運営の参考とさせてい
ただきますので、是非、ご来館の
際は、読書アンケートにご記入願
います。

第72回落語会

視力障害者鑑
賞用テープ作成
のための落語会
を、のんき亭喜
楽一門の協力に
より開催します。
みなさまの拍手や笑い声がいち
ばんのおくりものです。
ぜひ、おでかけください。



・申し込み 9月8日(木)午前9時
30分から、電話か直
接市立図書館へどう
ぞ。

☎36-0231

利用案内

○開館時間

午前9時30分～午後7時(ただ
し、児童図書室は午前9時30分
～午後5時)

○休館日

・毎週月曜日
・国民の祝日
・毎月第二日曜日(市立)

〃 第四〃 (市立東)

・図書整理日(毎月初日、ただし
初日が土・日・月の場合は次の
火曜日)

○講座の問合せ・申込みは
それぞれの図書館に電話(表紙
に掲載)または直接どうぞ

8月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
・	①	②	3	4	5	6
7	⑧	9	10	11	12	13
⑭	⑮	16	17	18	19	20
21	②②	23	24	25	26	27
②⑧	②⑨	30	31	・	・	・

9月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
・	・	・	・	①	2	3
4	⑤	6	7	8	9	10
⑪	⑫	13	14	⑮	16	17
18	⑮	20	21	22	②③	24
②⑤	②⑥	27	28	29	30	・

○=休館日 □=市立図書館のみ休館 ▢=市立東図書館のみ休館